

術前大腸 CT-Angiography における体表面積指標を用いた造影剤投与量の検討

1．研究の対象

2024 年 1 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの間に、国立がん研究センター東病院において診療上、術前に造影剤を使用した大腸 CT 検査が必要とされ、検査を実施した 18 歳以上の方を対象とします。

2．研究目的

術前に大腸の造影CT検査が実施された患者さんを対象に、投与する造影剤量を従来の体重で算出した群と体表面積で算出した群に分けて、撮影されたCT画像上の信号強度を比較する目的の研究です。

上記の研究目的を達成することにより、患者さん一人一人に最適な造影剤投与を可能とし、より安全かつ有用な検査に貢献すると考えます。

3．研究方法

大腸の造影CT検査を行う際に造影剤投与量を従来の体重で求めた群と体表面積から求めた群を比較し、得られたそれぞれのCT画像の主要血管（腹部領域）の描出能を評価し、見え方に違いがあるかを検討します。

研究実施期間：研究許可日から 2030 年 3 月 31 日までとします。

4．研究に用いる情報の種類

年齢、性別、病歴、疾患、身長、体重、CT 画像、撮影条件、造影剤注入条件等です。

5．外部への資料・情報の提供

本研究は単機関研究であり、他研究機関への情報の提供は行いません。

また、本研究では外部機関へ委託する業務はありません。

6．研究組織・研究責任者

国立がん研究センター東病院 放射線技術部・宮崎 紘樹

7．問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するためや研究の科学的意義を検討するために、国内外の第三者の立場の者が研究対象者のカルテやその他の診療記録、研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報を守られます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

宮崎 紘樹

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター東病院 放射線技術部

問い合わせ先

電話：04-7133-1111（代表）

研究機関の長

国立がん研究センター 理事長 中釜 斉